

精神医学講座

著書

- 1 門司 晃, 國武 裕: うつ病, 躁うつ病 (双極性障害). 病気とくすり2016基礎と実践 Expert's Guide 48-57. 南山堂 2016.
- 2 門司 晃: うつ病の生物学的病態. これだけは知っておきたい女性とうつ病 サインを見逃さのために 28-35. 医療ジャーナル社 2016.
- 3 *Ohgidani M, Kato TA, Mizoguchi Y, Horikawa H, Monji A, Kanba S: Antidepressants Modulate Microglia Beyond the Neurotransmitters Doctrine of Mood Disorders. Melatonin, Neuroprotective Agents and Antidepressant Therapy 611-620. Springer India Publishing, 2016.

原著論文

- 1 Tateishi H, Hirachi T, Maruo J, Haraguchi Y, Noguchi T, Mizoguchi Y, Kato TA, Kawashima T, Monji A: Neurocognitive Disorders in Chronic Kidney Disease: A Case Report and Literature Review. Psychosomatics. Jan-Feb; 57(1): 107-12, 2016.
- 2 Haraguchi Y, Mizoguchi Y, Noguchi T, Arai T, Fukuyama J, Kato TA, Kawashima T, Monji A: A patient with Alzheimer's disease complicated by elderly-onset Cushing's syndrome who had undergone surgical treatment for adrenocorticotrophic hormone-independent macronodular adrenal hyperplasia. Psychogeriatrics. 16(4): 274-6, 2016.
- 3 Maruo J, Haraguchi Y, Tateishi H, Noguchi T, Mizoguchi Y, Kato TA, Kawashima T, Monji A: Abnormal behaviours during pramipexole treatment for Cotard's syndrome: a case report. Psychogeriatrics. 16(4): 283-6, 2016.
- 4 °Sogawa R, Mochinaga S, Inaba T, Matsushima J, Mizoguchi Y, Kawashima T, Fujito H, Monji A: Safety of Long-term Use of Lamotrigine for the Treatment of Psychiatric Disorders. Clin Neuropharmacol. Nov/Dec; 39(6): 295-298, 2016.
- 5 °Sogawa R, Shimomura Y, Minami C, Maruo J, Kunitake Y, Mizoguchi Y, Kawashima T, Monji A, Hara H: Aripiprazole-Associated Hypoprolactinemia in the Clinical Setting. J Clinical Psychopharmacol 36(4): 385-7, 2016.
- 6 *Sato-Kasai M, Kato TA, Ohgidani M, Mizoguchi Y, Sagata N, Inamine S, Horikawa H, Hayakawa K, Shimokawa N, Kyuragi S, Seki Y, Monji A, Kanba S: Aripiprazole inhibits polyI: C-induced microglial activation possibly via TRPM7. Schizophr Res. Dec; 178(1-3): 35-43, 2016.
- 7 門司 晃: 高齢者の気分障害と認知症の関係およびその背景メカニズム. 臨床精神薬理 10 : 1663-73, 2016.
- 8 溝口義人, 門司 晃: レビー小体型認知症と他の精神疾患の鑑別. 精神科 29(1) : 28-31, 2016.
- 9 溝口義人, 鍋田紘美, 今村義臣, 原口祥典, 門司 晃: 免疫系と精神疾患 - BDNF, proBDNF と細胞内 Ca²⁺シグナリングの関与 -. 日本生物学的精神医学会誌 27(1) : 15-21, 2016.

総説

- 1 門司 晃: 精神疾患における慢性炎症に関して - うつを中心に -. 九州神経精神医学 62(1) : 3-11, 2016.
- 2 門司 晃: 精神科専門医を目指す人への助言 - 若い精神科医に対する研究の進め -. 九州神経精神

医学 62(1) : 43-46, 2016.

- 3 門司 晃：最近の大学医局事情. 最新精神医学 21(2) : 91, 2016.
- 4 門司 晃：学外で活躍する卒業生⑫（佐賀大学編）精神医学. 九大医学部同窓会紙 学士鍋 178. 14-15, 2016.
- 5 原口祥典, 溝口義人, 平地 徹, 立石 洋, 門司 晃：認知症の周辺症状（主に行動症状）に対する薬物療法について. 臨床精神薬理 19(9) : 1319-1324, 2016.

症例報告

- 1 原口祥典, 松永高政, 井上素仁, 吉本静志, 溝口義人, 門司 晃：抗精神病薬による治療後もBPSDが残存するアルツハイマー病患者10症例におけるメマンチン投与後の変化. 老年精神医学雑誌 27(5) : 547-553, 2016.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 門司 晃, 溝口義人：炎症仮説よりみた精神神経疾患と生活習慣病の関連. 第112回日本精神神経学会学術総会. 2016, 6, 2-4. プログラム抄録集 583.
- 2 溝口義人, 鍋田紘美, 今村義臣, 原口祥典, 門司 晃：ドネペジルのミクログリアに対する作用について. 第38回日本生物学的精神医学会. 2016, 9, 8-9. プログラム抄録集 137.
- 3 國武 裕, 今村義臣, 溝口義人, 鍋田紘美, 松島 淳, 小島直樹, 山田茂人, 門司 晃：女性の経度認知機能障害とアルツハイマー型認知症では健常高齢者に比べて末梢オキシトシン濃度が低い. 第112回日本精神神経学会学術総会. 2016, 6, 2-4. プログラム抄録集 528.
- 4 國武 裕, 松島 淳, 佐藤英俊, 門司 晃：肺癌切除術後の前胸部の慢性疼痛を契機に双極性障害を発症し, プレガバリンと気分安定薬で改善した一例. 第45回日本慢性疼痛学会. 2016, 2, 26-27. プログラム抄録集 76.
- 5 立石 洋, 平地 徹, 藤田知哲, 松島 淳, 丸尾讓二, 稲葉隆繕, 西原正志, 大塚貴輝, 今村義臣, 鍋田紘美, 前川敏彦, 溝口義人, 浅見豊子, 川島敏郎, 門司 晃：rTMSによるうつ病性障害治療中のバイオマーカー群の変化について. 第112回日本精神神経学会学術総会. 2016, 6, 2-4. プログラム抄録集 631.
- 6 松島 淳, 國武 裕, 平川奈緒美, 門司 晃：自閉症スペクトラム特性を考慮した慢性痛治療の提案. 第45回日本慢性疼痛学会. 2016, 2, 26-27. プログラム抄録集 74.
- 7 松島 淳, 門司 晃：何を不問に付すか—30代男性のターミナルケアを通して—. 日本ブリーフサイコセラピー学会第26回六本木大会. 2016, 7, 29-31. プログラム抄録集 40.
- 8 溝口義人, °祖川倫太郎, 下村由貴, 南智香子, 丸尾讓二, 國武 裕, 川島敏郎, 門司 晃, 原英夫：アリピプラゾール単剤投与によるプロラクチン血症への懸念. 第112回日本精神神経学会学術総会. 2016, 6, 2-4. プログラム抄録集 642.
- 9 今村義臣, 溝口義人, 鍋田紘美, 原口祥典, 松島 淳, 川島敏郎, 小島直樹, 山田茂人, 門司 晃：高齢者における宗教性と生化学的指標との関連. 第31回日本老年精神医学会. 2016, 6, 23-24. プログラム抄録集 238.
- 10 鍋田紘美, 今村義臣, 溝口義人, 原口祥典, 松島 淳, 小島直樹, 山田茂人, 門司 晃：高齢者のうつ症状と生理学的指標との関連についての検討. 第31回日本老年精神医学会. 2016, 6, 23-24. プログラム抄録集 248.

- 11 ○古川愛子, 江里口誠, 内川 舞, 浦川美加子, 登川誠也, 前田香織, 嘉村顕, 中迫正臣, 植田友貴, 小柳みどり, 松島 淳, 溝口 恵, 鈴山耕平, 持永周子, 原 英夫: 自力での体動が困難でADLに介助を要するALS患者の欲求と入院時の対応—症例を通して取決めを行うまで—. 第4回日本難病ネットワーク学会学術集会. 2016, 11, 18-19.

地方規模の学会

- 1 藤田知哲, 野上耕二郎, 村川 徹, 松島 淳, 稲葉隆繕, 立石 洋, 石井博修, 堤あき子, 國武裕, 溝口義人, 川島敏郎, 門司 晃: 佐賀大学医学部附属病院において自殺企図後入院となった患者の統計及び考察. 第69回九州精神神経学会. 第62回九州精神医療学会. 2016, 12, 1-2. プログラム抄録集 61.
- 2 野上耕二郎, 國武 裕, 溝口義人, 川島敏郎, 門司 晃: 出産に伴う甲状腺機能亢進症により増悪した非定型うつ病の症例. 第69回九州精神神経学会. 第62回九州精神医療学会. 2016, 12, 1-2. プログラム抄録集 72.
- 3 小嶋亮平, 藤田知哲, 溝口義人, 川島敏郎, 門司 晃: 双極Ⅱ型障害が疑われたレビー小体病の一例. 第69回九州精神神経学会. 第62回九州精神医療学会. 2016, 12, 1-2. プログラム抄録集 76.
- 4 藤井由佳, 藤田知哲, 井上 瑛, 江橋 諒, 増岡 淳, 阿部竜也, 安西慶三, 門司 晃: 精神病圏と誤診されていたクッシング病による器質性精神障害の一例. 第69回九州精神神経学会. 第62回九州精神医療学会. 2016, 12, 1-2. プログラム抄録集 77.
- 5 宮崎美菜, 藤田知哲, 國武 裕, 門司 晃: うつ病と中枢性尿崩症を合併した1例. 第69回九州精神神経学会. 第62回九州精神医療学会. 2016, 12, 1-2. プログラム抄録集 80.

その他の学会

- 1 門司 晃: 認知症の人の思いから始める. 地域カンファレンス in 佐賀. 2016, 1, 17.
- 2 門司 晃: 精神科領域から見た認知症診療の最近の話題. 第486回北九州精神科集談会. 2016, 1, 25.
- 3 門司 晃: 認知症診療の今後の展望—メマンチンへの期待—. 福精診・福精協 合同学術後援会. 2016, 2, 6.
- 4 門司 晃: 外来におけるうつ病治療について—うつ病と生活習慣病—. サインバルタ6周年記念講演会. 2016, 2, 12.
- 5 門司 晃: 外来におけるうつ病治療について—うつ病と認知症—. Depression Meeting in 筑豊—うつ病の寛解を目指して—. 2016, 2, 26.
- 6 門司 晃: 外来におけるうつ病治療について—うつ病の病態仮説とデュロキセチンの位置付け—. Lilly Neuroscience Conference in Nagoya. 2016, 2, 28.
- 7 門司 晃: 精神疾患の炎症仮説—気分障害と認知症の関係を中心に—. 第79回福岡認知症研究会. 2016, 3, 8.
- 8 門司 晃: 外来におけるうつ病治療について. 呉市精神科医会—早期完全寛解・回復へ向けたうつ病のMind & Body—. 2016, 3, 18.
- 9 門司 晃: うつ病診療に関する最近の話題—生活習慣病や認知症との関連から—. イフェクサSR—新発売記念講演会. 2016, 3, 31.
- 10 門司 晃: 認知症診療の今後の展望. 日医生涯教育協力講座セミナー—認知症に寄り添う—地域生活

- 継続可能な社会に向けて－. 2016, 4, 17.
- 11 門司 晃：外来におけるうつ病治療について－うつ病の神経炎症仮説とデュロキセチンの位置づけ－. 第7回今後の精神科治療を考えるために集う会. 2016, 5, 16.
 - 12 門司 晃：認知症ってなに？. FM 佐賀 健康情報番組メディカルさが. 2016, 6, 15.
 - 13 門司 晃：認知症診療の今後の展望. Alzheimer's Disease Seminar 2016 in 西宮. 2016, 6, 16.
 - 14 門司 晃：外来におけるうつ病治療について－うつ病の神経炎症仮説とデュロキセチンの位置づけ－. 水海道地区精神科医療勉強会. 2016, 6, 27.
 - 15 門司 晃：うつと認知症の臨床的関連. Alzheimer Academy Japan 九州エリアシンポジウム. 2016, 7, 10.
 - 16 門司 晃：認知症診療の今後の展望－メマンチンへの期待－. 認知症診療 Up to Date 2016. 2016, 7, 12.
 - 17 門司 晃：慢性腰痛症にデュロキセチン使用する際のポイント. 佐賀県整形外科疼痛研究会. 2016, 8, 4.
 - 18 門司 晃：外来におけるうつ病治療について－痛みや生活習慣病との関連から－. Lilly Neuroscience Conference in Fukuoka. 2016, 8, 28.
 - 19 門司 晃：睡眠覚醒障害について. 産業医研修会. 2016, 9, 15.
 - 20 門司 晃：認知症診療の今後の展望－メマンチンへの期待－. AD カンファレンス2016. 2016, 9, 16.
 - 21 門司 晃：外来におけるうつ病治療について－うつ病の病態仮説とデュロキセチンの位置づけ－. Lilly Neuroscience Conference. 2016, 9, 29.
 - 22 門司 晃：睡眠覚醒障害について. 産業医研修会. 2016, 10, 6.
 - 23 門司 晃：認知症診療の今後の展望－メマンチンへの期待－. 第24回日本精神科救急学会学術総会 ランチョンセミナー. 2016, 10, 8.
 - 24 門司 晃：認知症治療についての最近の話題. 佐賀病診連携の会－高齢者のトータルケア－. 2016, 10, 12.
 - 25 門司 晃：勤労者にとっての認知症とは？. 平成28年度電気管理安全技術講習会. 2016, 11, 15.
 - 26 門司 晃：睡眠覚醒障害について. 産業医研修会. 2016, 11, 17.
 - 27 門司 晃：外来におけるうつ病治療について－うつ病の神経炎症仮説とデュロキセチンの位置づけ－. うつ病治療を考える会. 2016, 12, 3.
 - 28 門司 晃：睡眠覚醒障害について. 産業医研修会. 2016, 12, 15.
 - 29 門司 晃：職場におけるメンタルヘルス. 平成28年度第1回佐賀県かかりつけ医うつ病対応力向上研修会. 2016, 12, 21.
 - 30 門司 晃：うつ病にもしばしば認められる睡眠覚醒障害に関して. 北九州うつ病ミーティング2016. 2016, 12, 22.
 - 31 川島敏郎：認知症にどう向き合うか－精神科医療の立場から－. 第45回唐津地区精神保健福祉大会 ひまわりフェスタ. 2016, 3, 9.
 - 32 川島敏郎：双極性障害とは何か－プライマリケア医が見逃してはならないもう一つの精神疾患－. 平成27年度第2回 佐賀県かかりつけ医うつ病対応力向上研修会. 2016, 3, 18.
 - 33 川島敏郎：うつ病およびその他の精神障害診療における抗うつ薬処方の実際. MEET THE EX-

- PERT. 2016, 9, 27.
- 34 溝口義人, 鍋田紘美, 今村義臣, 原口祥典, 門司 晃: ドネベジルのミクログリアへの作用から認知症治療を考える. 第3回サイゴグリア研究会〜グリアと炎症から精神疾患を考える〜. 2016, 5, 21-22. プログラム抄録集 p1-7.
 - 35 溝口義人: 精神科の立場からみた認知症の診療について. 県民公開講座 みんなで知ろう認知症. 2016, 10, 8.
 - 36 國武 裕: 緩和ケア領域における気持ちのつらさとせん妄. 佐賀県病院薬剤師会 第5回オンコロジー研修会. 2016, 3, 6.
 - 37 國武 裕: 気持ちのつらさと痛みはどう向き合うか. 第21回地域がん診療拠点病院 唐津赤十字病院 公開講演会. 2016, 6, 10.
 - 38 國武 裕: せん妄〜早期発見と対処について〜. 地域がん診療連携推進セミナー. 2016, 8, 2.
 - 39 國武 裕: 慢性疼痛を伴ううつ病にデュロキセチンが著効した1症例. 第14回佐賀痛みを考える会. 2016, 10, 12.
 - 40 立石 洋: 当院における rTMS の現状. 佐賀県精神科病院協会学術講演会 (第202回佐賀精神科集談会). 2016, 7, 15.
 - 41 稲葉隆繕: 佐賀大学医学部附属病院における摂食障害診療の現状. 第27回佐賀県精神科病院協会学術講演会 (第201回佐賀精神科集談会). 2016, 3, 7.
 - 42 稲葉隆繕: オレキシン受容体拮抗薬 最近の話題〜大学病院における使用状況を含めて〜. 佐賀不眠症フォーラム-高齢者の不眠症治療を考える-. 2016, 7, 26.
 - 43 松島 淳: 人生の最終段階における心理支援-Advance Life Planning を考える-. 平成27年度第1回緩和ケア講演会. 2016, 3, 10.
 - 44 松島 淳: 糖尿病患者の心理と行動. 第3回佐賀県糖尿病療養指導士認定研修会. 2016, 7, 10.
 - 45 松島 淳: 支援者のための災害時の心理. 難病患者在宅療養支援研修会. 2016, 9, 7.
 - 46 松島 淳: 心のケアとリハビリテーション. 第4回佐賀がんリハビリテーション研修会. 2016, 10, 1-2.
 - 47 松島 淳: 今日からはじめるストレスマネジメント. 前田病院メンタルヘルス研修. 2015, 10, 26/11, 09.
 - 48 松島 淳: 災害時における患者や家族への心理的支援について. 難病患者訪問従事者研修会. 2016, 11, 28.
 - 49 藤田知哲, 諸隈 暢, 平地 徹, 稲葉隆繕, 松島 淳, 丸尾譲二, 立石 洋, 堤あき子, 國武 裕, 溝口義人, 川島敏郎, 門司 晃: クエチアピン使用により食後高インスリン血症を起し低血糖を来した双極性障害の一例. 第21回向精神薬フォーラム in SAGA. 2016, 2, 24.
 - 50 藤田知哲: 佐賀大学医学部附属病院において自殺企図後入院となった患者の統計及び考察. 佐賀県精神科病院協会学術講演会 (第204回佐賀精神科集談会). 2016, 12, 8.
 - 51 藤井由佳: 精神病圏と診断されていたクッシング病による器質性精神障害の一例. 第203回佐賀精神科集談会. 2016, 10, 26.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	門司 晃	厚生労働省科学研究費補助金	慢性の痛み対策事業(分担)	慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究	200
教授	門司 晃	日本医療研究開発機構	長寿・障害総合研究事業 障害者対策総合研究開発事業(精神障害分野)	髄液サンプルを用いたうつ病バイオマーカーの開発	1,040
教授	門司 晃	第一三共株式会社研究助成		健常高齢者の抑うつ状態や認知機能低下の予測バイオマーカーの探索	100
教授	門司 晃	アステラス製薬株式会社研究助成		薬剤治療抵抗性うつ病性障害に対する反復性経頭蓋磁気刺激(repetitive transcranial magnetic stimulation: rTMS)治療に関する臨床的研究	50
教授	門司 晃	ノバルティス ファーマ研究助成		薬剤治療抵抗性うつ病性障害に対する反復性経頭蓋磁気刺激(repetitive transcranial magnetic stimulation: rTMS)治療に関する臨床的研究	50
教授	門司 晃	田辺三菱製薬株式会社研究助成		健常高齢者の抑うつ状態や認知機能低下の予測バイオマーカーの探索	50
教授	門司 晃	ファイザー株式会社研究助成		薬剤治療抵抗性うつ病性障害に対する反復性経頭蓋磁気刺激(repetitive transcranial magnetic stimulation: rTMS)治療に関する臨床的研究	100
准教授	川島 敏郎	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	認知症発症リスクバイオマーカーに関する前方視的研究:伊万里市長期縦断疫学研究	1,040
講師	溝口 義人	MSD 株式会社研究事業		うつ病治療における抗うつ薬の選択に有用な生物学的指標の検討ならびに抗うつ薬作用機序解明	50